

大きく変わる学校

全面先端クラス化、新コース制

開智中高一貫部



開智中高一貫部は難関大学合格実績だけでなく探究活動やグループ校での国際バカロレアの実施など、教育活動開発活動でも有名です。近年は岩槻の本校だけでなく、開智未来、開智望、開智日本橋学園といったグループ校が増えている、この面からも注目されています。岩槻の本校では「生徒が自分で勉強したいと思う意識付け、勉強する仕組みづくりを創ること」を狙いとして 2021 年度から教育内容とクラス制の改革に着手することになりました。

1. 新しい一貫部のコース編成

開智中高一貫部では、2020 年まで先端クラスと一貫クラスの 2 コース制として募集を行ってきましたが、2021 年の入学生から全面的に先端クラスとし、先端クラスの中で 4 つの新しいコースを設置します。①先端 I T②先端 G B③先端 M D④先端 F D の 4 コースで、興味関心や方向性が共通する生徒たちを、同じホームルームに集めることで、主体的で深い学びにつなげていくことが狙いです。

2. 先端 I T コース

東大、京大、一橋、東工大、早稲田、慶應等の目標大学が決まっている生徒が対象で、目指す大学に向けて基本的な力を 4 年(高 1)までに養成し、志望大学の先を考えて学びます。目標大学を視野に入れた探究活動を進め、行事ではその成果を展示発表するなどを行っています。

3. 先端 G B コース

グローバルな仕事や、AI、ロボットなど、これからの社会で挑戦しようとする生徒が対象で、必要に応じて英語は取り出し授業を行い、ホームルームは英語で行うなども計画しています。5 年(高 2)から国際バカロレアのディプロマを実施できるよう準備を進めていて、継続する学びを実践します。

4. 先端 M D コース

医師、歯科医師、薬剤師、獣医師などを希望する生徒が対象で、医学の基礎となる教科内容を学ぶほか、特に「命とは」「人の尊厳とは」を深く学び、医療従事

者としての意識、姿勢を育てていきます。

5. 先端 F D コース

将来は何をしたいか、どんな大学へ行きたいか、をこれから考える生徒が対象のコースで、幅広い分野のフィールドワーク、本質を学ぶ授業、探究活動を通じて自分の好きなこと、得意なことを見つけ、4 年までに自分の未来をしっかりと決めていきます。

6. カリキュラム、コース移動と進学目標

入学前の登校日に説明を聞き、コースを自分で選択します。教科の授業カリキュラムは各コースとも 1・2 年は共通です。特色である「哲学対話」やキャリア教育、探究活動などでコースごとの目標に合わせた取り組みを行います。数学・英語の習熟度別指導は従来通り実施し、3 年になるときにコース移動が可能で、3・4 年ではコース別習熟度別のホームルーム編成となります。5・6 年は①東大・京大・国公立大文系②東大・京大・国公立大理系③医学系大学④難関私立大文系⑤難関私立大理系⑥グローバル系文・理系の 6 コース、志望大学別の指導となり、入試科目の授業のさらなる充実だけでなく、前述のように国際バカロレアのディプロマを取得するクラスも設置する予定です。

生徒指導は生活だけでなく家庭学習も重点的に強化して、ハイレベルな授業を展開しつつ、習熟が不十分な生徒には自学のバックアップを強化します。こうした取り組みを通して、東大 30 名、国公立医学部 20 名、国公立大 120 名、早慶 150 名、海外の大学 10 名の進学を目標とします。